

2
3 一 期 一 会

4 ～地域の未来は我々 Jaycee が創る～

5
6 第 47 代理事長 早水 大輔

7
8 Vo.3

9 【はじめに】

10 1973 年に加須青年会議所が設立し 46 年が経ちました。この 46 年という年月の中で加須
11 青年会議所と加須市は共に多くの革新から現在の加須市を創り上げてきました。昨今の地
12 域社会は IT の普及により SNS、AI による技術革新によってコミュニケーションツールは
13 発展しておりますが、今もなお「会う」ということ以外にもっとも友好的なコミュニケー
14 ション手段はありません。世界人口約 76 億人といわれる中で、人生 80 年と仮定した場合。
15 親しく会話する人 300 人。友人と呼べる人 30 人。親友と呼べる人 3 人という統計があり、
16 私たちは今まで何人の「ひと」と出会ってきただろうか。加須青年会議所メンバー数は 13
17 名であり、共に運動をしている仲間と出会う確率は統計学上では無視してもよいとされる
18 くらいの確率であります。我々はこの加須青年会議所という小さなコミュニティで自己成
19 長を遂げ、市民の為、地域社会の為とさまざまな地域革新を行ってきました。しかし、我々
20 の運動は時代と共に変化し、無くなってしまうものもあれば進化する運動もある中で、時
21 代に我々が新たな運動を求められているのではないのでしょうか。JC 運動というのはきっと
22 大切なひとを想うことから始まっている。家族の為、子供の為、恋人の為。JC というのは
23 いつの時代も地域の中心にあり、人々の暮らしを豊かにしてきました。だから、我々は
24 大切なひとを想うその気持ちを大切にすると共に必然的な出会いに感謝し、まずはその人た
25 ちの為に動き出してゆきましょう。2020 年度 一般社団法人 加須青年会議所は、不可能を
26 可能へ予定調和を無くした革新的な運動展開をすることをお約束します。

27
28 【意識変革を促し同志を募る】

29 「JC ってお金が掛かるよね」、「JC って会議が多くて大変だよね」「JC って・・・。」そ
30 んな言葉をよく耳にします。そんな言葉を掛けられた時どのように答えますか。どこまで
31 胸張って JC のことを伝えられますか。会員拡大は JC 運動の根源とされており、地域革新
32 に必要な運動の一つであります。まずは、私たち自身が JC 活動を見直し JC 運動への意義
33 を見出すことが必要です。我々メンバーは会うべくして出会った一生に一度の出会いと機
34 会であります。私たちは JC という場所で、「修練」「奉仕」「友情」という三信条の元、自

1 己成長を図ってきました。在籍年数は各々違えども言葉だけでは言い表せられないほどの
2 経験と知識の積み重ねを経て私たちは Jaycee となった今、その Jaycee という自覚と自信
3 をもち、まだ見ぬ同志の意識変革を促し、共にこの地域をより良くする為の人財を 13 名募
4 りましょう。その為に、20 歳から 40 歳までの青年層と言われる世代が多く集う機会と場所
5 を提供し、私たちの理念発信、理念共有の場所とし多くのひとに刺激を与え、相手から JC
6 に入りたいと思わせるほどの魅力あふれる新たな加須青年会議所を創造してゆきます。

7 8 【新たな JC 運動で地域革新を】

9 私たちが 46 年間行ってきたまちづくりや青少年育成は、今の時代もこれからの未来も JC
10 がやるべき仕事だと考えます。なぜ、まちづくりを JC が行うのか。まちづくりは行政に任
11 せておけばいい。なぜ、青少年育成を JC が行うのか。青少年育成は教育機関に任せておけ
12 ばいい。それでは、旧態依然としてなにも新しいものは生まれず予定調和の中で右往左往
13 しているだけであり、「全ての人々が共創しあう絆溢れる明るいまち」の実現は出来ません。
14 地域というのは家族という小さなコミュニティの集合体であります。そのひとつひとつの
15 コミュニティは小さな輪かもしれませんが、手と手を取合い絆という大きな輪になった時、
16 この地域は革新的な発展を遂げると確信します。我々は昨年より SDG s 運動を推進してお
17 り、誰一人として取り残さないことを誓い取り組んでおります。その SDG s 運動の達成に
18 向けて「行政」「企業」「民間」と全ての分野の力を用いる為に、我々 JC が持ち前の行動力
19 を発揮し、地域社会の課題を抽出し持続可能な解決策を見出してゆきます。これまでの予
20 定調和を無くし地域社会へ衝撃と感動を与え、能動的市民に溢れること。即ち、地域革新
21 こそが我々加須青年会議所の使命であります。

22 23 【おわりに】

24 地域社会の問題というのは誰かが取り組まなくてはならない問題であり、その問題とい
25 うのを我々 JC が率先して取り組むべきなのです。新しいことを始めようとするとは必ず失敗
26 する。必ず非難される。しかし、JC 運動というのはそこから始まっているのです。「JC し
27 かなかった時代」から「JC もある時代」と言われているが、我々 JC の強みは誰も考え付
28 かない、誰もやったことがない。不可能を可能にする青年としての英知と勇気と情熱を兼
29 ね揃えている Jaycee であることです。2020 年度は、「会う」という一見アナログ的なコミ
30 ュニケーション手段と思いがちですが、このアナログ的なように画期的な手段を駆使し、
31 多くの人々と会う機会を提供し人との出会いに感謝し、機会という時間を大切にする「一
32 期一会」を胸に一年間運動展開して参ります。

33
34
35
36